



## 但馬水産技術センターだより



### 漁況情報 (G1712号)

平成29年8月25日

兵庫県立農林水産技術総合センター  
但馬水産技術センター 発行

### ハタハタ・アカガレイ・エチゼンクラゲ等に関する情報について (平成29年度底びき漁期前調査結果)

平成29年8月9～10日および同17～19日に但馬沖～隠岐北方の水深180～350m(図1、表1)で、漁業調査船「たじま」により、トロール網試験操業を実施しました。結果の概要は以下の通りです。

#### ① ハタハタに関する情報

- ・大山沖～隠岐東方の水深200～230m付近でまとまった入網がありました。(表1、図2)
- ・1網当たり入網重量は全域(但馬沖～隠岐北方)平均では44.7kg/網で、前年(91.6kg/網)および過去10年平均(56.0kg/網)を下回りました。(図3)
- ・漁獲物は中型の2才魚(体長16cm前後)が主体で、大型の3才魚(18cm前後)、小型の1歳魚(14cm前後)がこれに続きました。(図4)

以上のことからハタハタの秋漁(9～10月)について、**漁場は大山沖～隠岐東方を中心に形成される**でしょう。**漁獲物は漁期当初は2才魚と3才魚を中心に構成され、1歳魚は少ない**でしょう。**漁獲量は前年および近年の平均を下回る**でしょう。(図5)

#### ② アカガレイに関する情報

- ・アカガレイの入網は但馬沖でまとまって認められました。(表1、図6)
- ・但馬沖～大山沖を平均した入網重量は14.8kg/網で前年(31.7kg/網)および過去10年平均(29.5kg/網)を大きく下回りました。(図7)
- ・大型のメスは水深270m以深で入網しましたが、(図8)水深300mでは前年より大きく減少しました。
- ・水深350m以深については情報がありません。

以上のことからアカガレイの秋漁について、**漁場は但馬沖を中心に形成される**でしょう。**漁獲量(入網量)は水深300～350m水深帯においては前年を下回る**でしょう。

#### ③ エチゼンクラゲに関する情報

- ・但馬沖から隠岐北方の全点でエチゼンクラゲの入網は認められませんでした。(表1、図9)
- ・黄海、東シナ海および対馬海峡付近での目撃、入網情報はあるものの、大量に出現する可能性は低いでしょう。
- ・大型クラゲ出現情報がJAFIC; <http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>や水産研究・教育機構 日本海区水産研究所; [http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/kurage/kurage\\_top.html](http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/kurage/kurage_top.html)から公開されています。最新の情報収集に努めて下さい。

#### ④ その他の情報

- ・アカガレイ、ハタハタなどと同時に、ズワイガニが多く混獲される海域があります。(但馬沖水深300m付近、隠岐東方水深210・230mなど)このような海域では「**混獲回避漁具**」や「**吊り岩**」を有効活用して**ズワイガニの保護に努めて下さい**。

以上、操業の参考にして頂ければ幸いです。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター (担当：大谷)

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684

email：nouringc\_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ：http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm

# 平成29年度底びき漁期前調査結果 資料

## 1)調査の目的

底びき解禁前のハタハタ、アカガレイ、エチゼンクラゲ等の分布、体長組成等に関し、情報の収集と提供を行う。

## 2)調査日時

平成29年8月9～10日(但馬沖)

平成29年8月17～19日(大山沖～隠岐北方)

## 3)調査海域

但馬沖から隠岐東方にかけての水深180～350m海域(図1参照)

## 4)使用船舶

兵庫県 漁業調査船「たじま」(199トン)

## 5)調査内容

### ①トロール試験操業

図1に示した計15点において、底びき試験操業を実施。

使用漁具:着底トロール網、袋網16節、袖先間隔約28m、間口高さ約2.6m、曳網方法:3knot、30分(約1.5マイル)曳き。

### ②海洋観測

定点におけるSTDによる海底までの水温、塩分観測と、網に取り付けたセンサーによる海底水温の計測を実施。

### ③魚探反応の収録

トロール曳網時の魚探反応を収録。

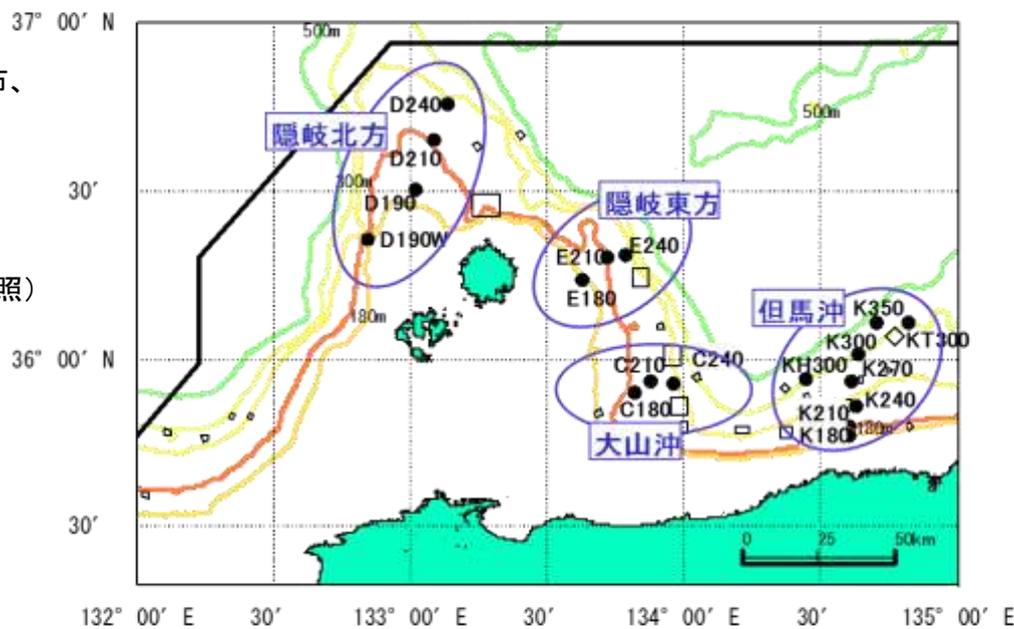


図1 調査海域図

表1 定点別魚種別入網状況

月日	曳網開始時刻	エリア	操業点番号	平均曳網水深	海区番号	表面水温(°C)	海底平均水温(°C)	魚種別入網重量(kg)						
								ハタハタ	アカガレイ(マガレイ)	ソウハチ(イ)	ヒレグロ(ヤマ)	ハイ類	エビ類	エチゼンクラゲ
8/10	8:01	但馬沖	K350	348	8086	26.6	0.6	0.3	14.7	0.4	0.0	0.2	6.2	0.0
8/9	17:28		KH300	307	8191	27.3	0.8	0.2	29.2	0.0	0.0	1.5	2.9	0.0
8/10	9:47		K300	304	8089	27.1	0.7	0.9	55.7	0.0	0.1	1.8	2.7	0.0
"	6:24		KT300	305	8086	26.8	1.0	0.2	17.1	0.0	0.2	0.3	1.0	0.0
8/9	15:16		K270	270	8097	27.7	1.0	2.2	71.3	0.0	7.1	2.9	1.8	0.0
"	13:28		K240	235	"	26.7	1.9	2.6	11.9	1.2	2.0	31.9	1.3	0.0
"	11:49		K210	215	8098	26.1	3.1	0.2	19.3	0.0	5.4	1.5	0.2	0.0
"	10:21		K180	185	"	26.9	5.1	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8/17	15:30	大山沖	C240	238	8291	27.6	1.3	10.5	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0
"	13:24		C210	215	"	27.7	2.0	35.0	0.7	4.7	0.0	2.7	0.0	0.0
"	17:13		C180(200)	200	8294	27.7	2.3	119.3	5.9	10.8	1.7	23.3	0.5	0.0
8/18	14:57	隠岐北方	D240(220)	221	8378	27.7	1.7	9.0	0.6	0.0	0.2	1.1	0.0	0.0
"	12:48		D210(200)	201	8379	27.1	1.9	4.9	2.3	0.0	2.2	1.6	0.2	0.0
"	10:32		D190(180)	184	"	27.9	1.6	6.9	0.7	0.0	15.8	14.4	0.1	0.0
"	7:57		D190W	185	8481	27.0	2.5	27.1	0.1	0.8	1.5	20.2	0.1	0.0
8/19	10:46	隠岐東方	E240(230)	230	8285	26.8	1.8	213.5	2.4	0.0	4.7	14.7	0.3	0.0
"	8:41		E210	210	"	26.9	2.4	314.3	0.5	1.1	6.2	14.8	1.6	0.0
"	6:45		E180(190)	186	8288	26.8	2.5	24.4	0.0	0.0	0.0	1.8	0.3	0.0

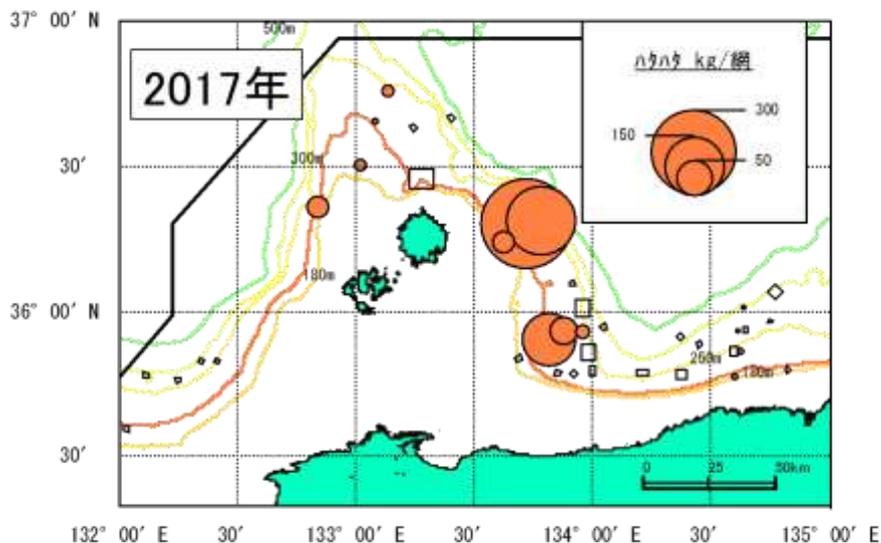


図2 ハタハタ入網重量の分布(kg/網)

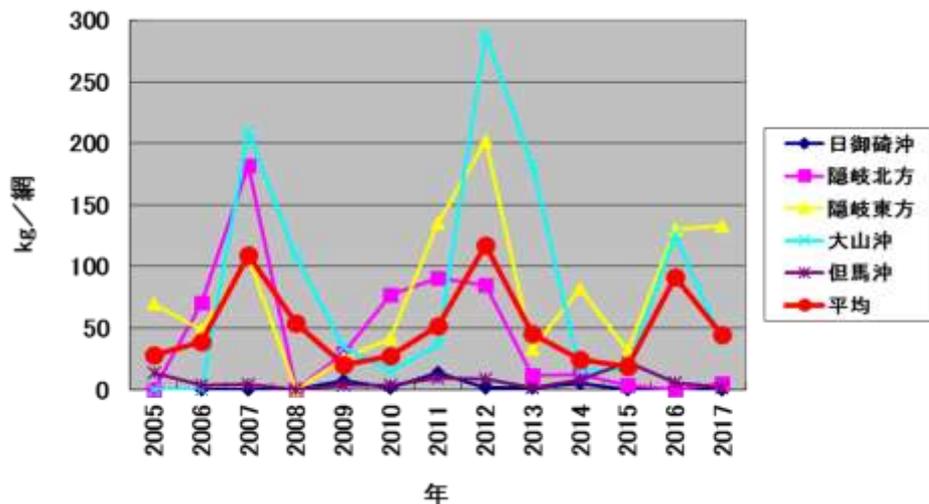


図3 エリア別 1 曳網当たりハタハタ入網重量 (曳網水深166-255m)

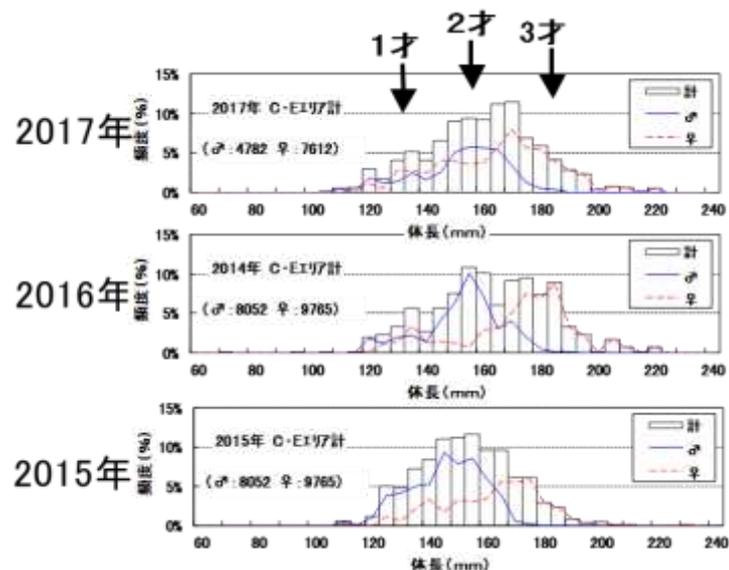


図4 近年のハタハタ体長組成 (隠岐東方～大山沖)

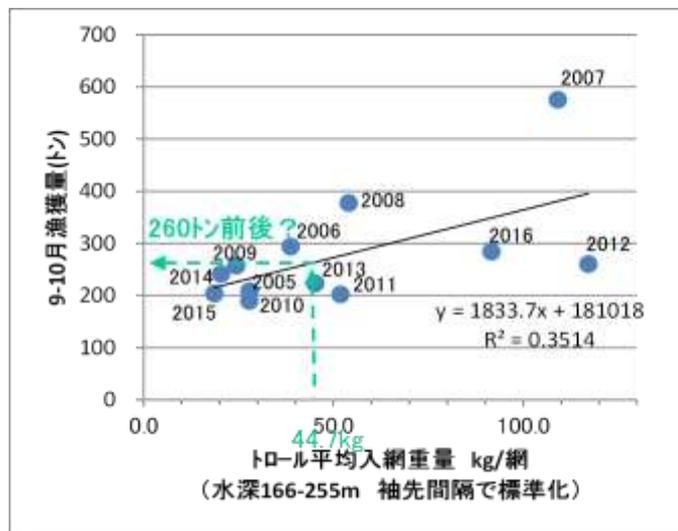


図5 調査1 曳網あたり入網重量と 9～10月のハタハタ漁獲量の関係

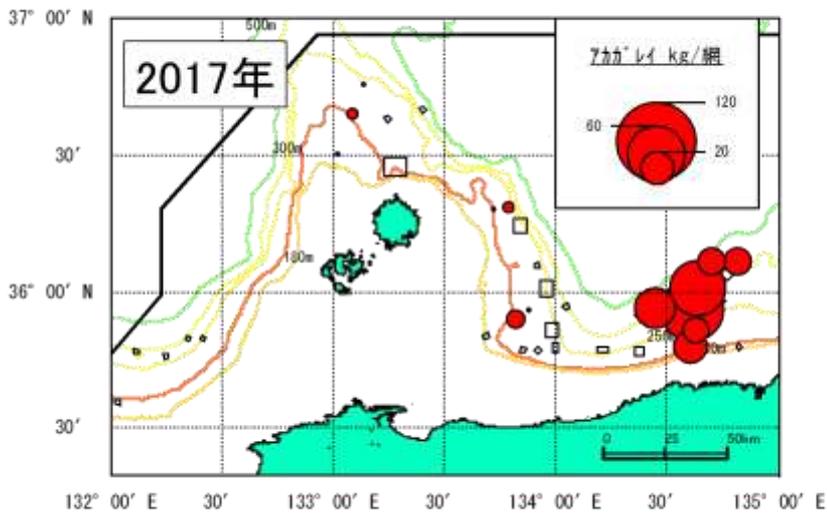


図6 アカガレイ入網重量の分布 (kg/網)

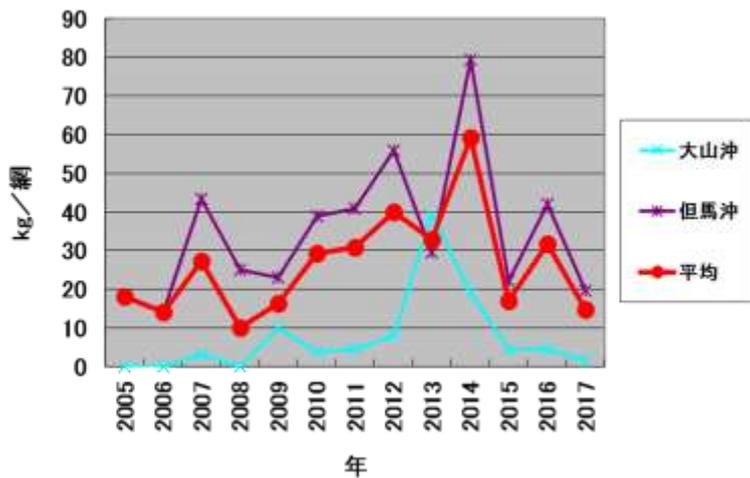


図7 エリア別 1 曳網当たりアカガレイ入網重量

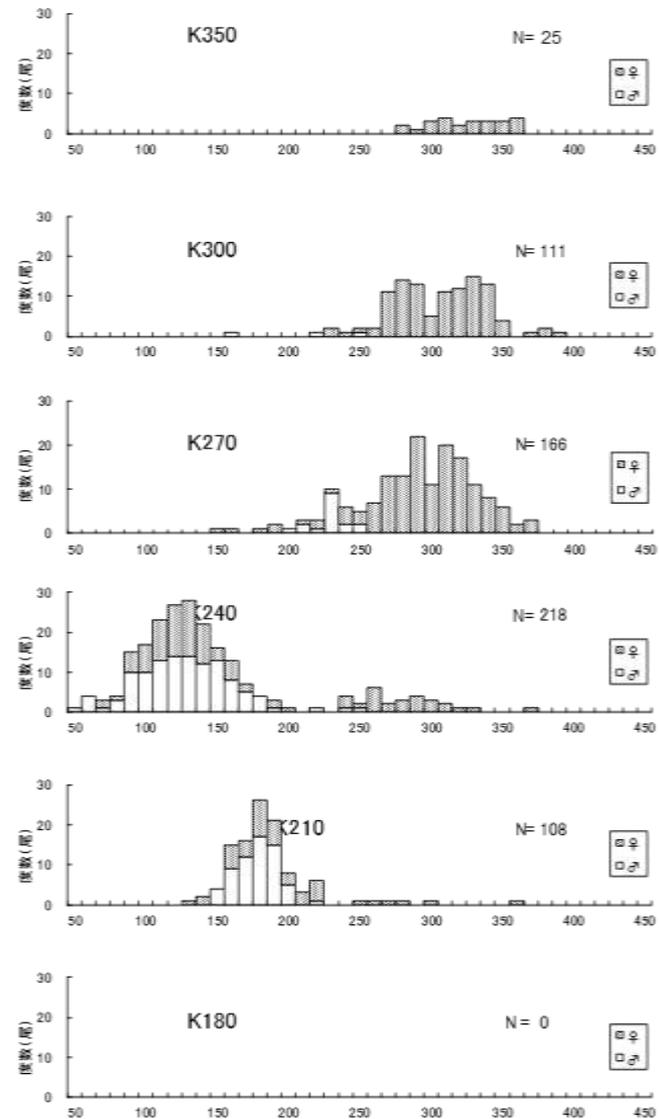


図8 定点別アカガレイ体長組成(香住沖)

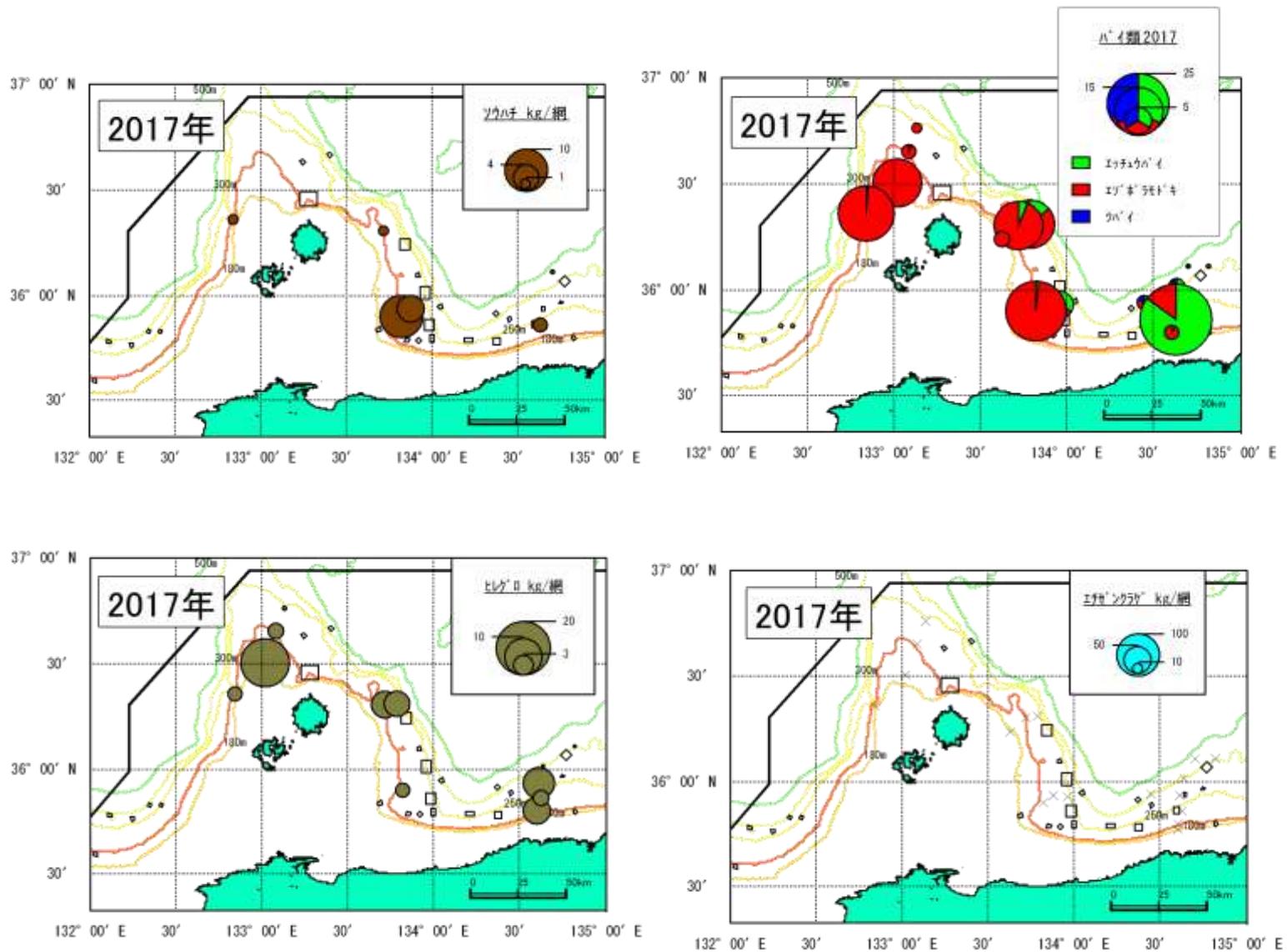


図9 その他主要魚種等の入網重量の分布(kg/網)